

サステナビリティ ビジネス NEWS VOL1

サステナビリティは移り変わる目標であり、毎年多くの変化があります。Global TechnoとRead the Airは、持続可能なビジネスの分野の進化を理解するための堅固な基盤を提供するとともに、最新の動向を常に更新し続けることを目指しています。このニュースレターでは、Read the AirのTrista BridgesとDonald Eubankが、持続可能なビジネス戦略、ポリシー、ツールに関する最新のニュースをピックアップします。

非財務報告に対する日本の準備状況

Read the Airは、日本の食品会社の公式な持続可能性開示に対する準備状況を調査し、小売、加工食品、ファーストフードのセクターが報告のための良い位置にある一方、原材料供給業者は主要な分野での改善が必要であることを発見しました。この傾向は食品産業のみならず日本のさまざまな産業の状況を代表していると考えています。「["Setting the Table for Sustainability Disclosure" English PDF](#)」(英語版)というレポートをダウンロードして、日本の食品会社が非財務開示のためにどのように準備されており、準備を整えるために何をすることができるかを詳しく知ることができます。(注: ダウンロードにはRead the Airサイトでのメールアドレス入力が必要となります)

EUの開示規制が日本のビジネスに及ぼす影響

Read the Airは、EUのCorporate Sustainability Reporting Directives (CSRD)が国境を超えてどのような影響をもたらすかを調査・検討しました。この規制により、日本の多国籍企業のEU支店や子会社数百か所がCSRDに基づき開示を求められる可能性があります。「["The Long Arm of the EU Law" JAPANESE PDF](#)」をダウンロードして、新しいCSRD規制について、人々、プロセス、技術が開示努力をどのように前進させるべきか検討しましょう。

EU炭素国境調整メカニズム (CBAM) が10月1日に施行

CBAMは、EU地域に輸入される製品に組み込まれた炭素排出量に価格を設定します。これは、10月1日から、EUに輸出する企業が試用期間の一部として製品の組み込まれた炭素排出量を記録する必要があることを意味します。2025年までにCBAMは完全に施行され、日本がEUに輸出する製品で既に炭素価格が適用されていないものに価格が設定されます。

ABOUT [READ THE AIR](#)

Read the Air(リード・ザ・エア)は、ESGと持続可能性の実践に基づく戦略を活用して企業価値を創造することを可能にします。私たちは、情報、計画、人材、コミュニケーション、ツールに焦点を当てることで、これを実現しています。企業と連携し、ESG原則、持続可能な実践、国連のSDGs(持続可能な開発目標)に基づく持続可能なビジネスモデルを創造するための強力なビジネス戦略を設計、実施、実行するお手伝いをしています。Read the Airは、最も複雑で急速に進化するサステナビリティ、ESG、およびビジネス問題について、情報に基づいた最新のアドバイスを提供します。Routledge社から絶賛発売中の書籍「Leading Sustainably-The Path to Sustainable Business and How the SDGs Changed Everything」(Routledge社では20%オフ Amazonでも購入可能)をご覧ください。
Read more on the subjects above here: www.linkedin.com/pulse/happy-new-year-from-read-air-read-the-air-0iyqc/